



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2138 URL <https://crooz.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者CFO (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-6387-3622
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,432	△7.1	271	10.0	461	65.1	393	133.1
2023年3月期第1四半期	3,692	△7.6	246	△42.9	279	△37.5	168	△17.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 475百万円 (271.4%) 2023年3月期第1四半期 127百万円 (△24.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	35.34	34.42
2023年3月期第1四半期	15.16	-

(注) 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	26,027	10,448	39.5
2023年3月期	25,408	9,968	38.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 10,268百万円 2023年3月期 9,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）496株式会社、除外 1社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	12,957,600株	2023年3月期	12,957,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,835,182株	2023年3月期	1,835,182株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	11,122,418株	2023年3月期1Q	11,122,479株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「20XX年までに時価総額1兆円以上」という超長期的目標を掲げ、2018年5月10日をもって全ての事業を子会社化し、純粋持株会社となりグループ経営へと移行しております。この超長期的目標を最速で実現するべく、次世代の事業と経営者の誕生と成長、永遠のベンチャースピードを手に入れるための仕組み「CROOZ永久進化構想」を活用し、より多くの起業家を育成し、『SHOPLIST.com by CROOZ』（以下、SHOPLIST事業）を軸に、ショッピングやゲームなどのエンターテインメント領域を中心に、常に時代の変化に合わせて幅広くインターネットサービスを展開してまいります。

グループの主軸事業の一つであるEC事業の国内BtoCのEC（消費者向け電子商取引）市場は2021年に20.7兆円に達しており（注1）、また今後さらに拡大し、2025年度には27.9兆円に達する見込みといわれております（注2）。

また、中でもSHOPLIST事業のおかれるアパレルEC（BtoC）市場は、2021年に約2.4兆円に到達しており、前年から約2,076億円拡大しております。近年販売の主戦場が実店舗からECに移行する大局の流れが見られていたところ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う巣ごもり消費の影響でその流れが加速しましたが、消費者の間で徐々に外出機会が回復したにも関わらず、その市場規模が引き続き増加しております（注1）。

一方で、当該成長市場においてSHOPLIST事業は、前年同四半期と比較して取扱高及び売上高が減少しておりますが、その主な要因は引き続き訪問者数の減少が挙げられます。訪問者数の減少の主な要因は、SEOや広告経由での訪問者数が減少しているのがありますが、アパレルEC市場における競合が増えたことで、集客の難易度が以前にも増して高まっている点が否めません。現状の延長線上でSHOPLIST事業の訪問者数や取扱高及び売上高を完全に回復するには、抜本的な集客方法の見直しが必要であると考えており、取扱高及び売上高を再度成長軌道に乗せていくための施策に注力してまいります。

また、今後は既存事業のメディア事業と新規事業であるGameFi分野にも注力してまいります。特にGameFi分野のブロックチェーンゲームについては、国内だけでなくグローバルな市場であり、将来的に大きな利益をもたらす可能性があるため、当社が今までゲーム開発で培ってきたノウハウ等を総動員して、その成功確度を高めていきたいと考えております。それに伴い、当第1四半期連結会計期間より、既存のゲーム事業にGameFi分野の事業を追加し、従来「ゲーム事業」としていたセグメントの名称を「GameFi事業」に変更しました。また、従来「インターネット広告・メディア事業」としていたセグメントの名称を、『ランク王』によるメディア事業に注力する方針と合わせて「メディア事業」に変更しております。そして、GameFi事業における第一弾ゲームプロジェクトとして、当社グループのCROOZ Blockchain Lab株式会社が参画する『PROJECT XENO』が2023年5月10日にリリースされました。『PROJECT XENO』はまだリリースして間もなく、競合が多い状況でもあるため、現時点では『PROJECT XENO』単体の収益等は非開示とさせていただいておりますが、当第1四半期連結会計期間のGameFi事業としては営業利益278,909千円（前年同四半期比243.4%増）となっております。比較的順調に推移しているため、GameFi事業への初めてのチャレンジとしては一定の手ごたえを感じており、今後も大きく伸びる可能性があるかと期待しております。

メディア事業については、事業の核となる『ランク王』は当第1四半期連結会計期間の取扱高は233,650千円（前年同四半期比120.3%）、営業利益が63,538千円（前年同四半期比127.8%）と順調に伸びております。さらに事業を伸ばすために、必要に応じて積極的に投資していきたいと思っております。なお「メディア事業」セグメント全体の売上・営業利益が前年同四半期比で減少しているのは、2023年2月に発表した通り、広告代理店事業の大口の取引先との受託業務契約が終了したためであります。広告代理店事業をメインで展開していた子会社代表はCROOZ Blockchain Lab株式会社の代表も兼務しており、GameFi事業が好調なこの機に広告代理店事業よりもGameFi事業に集中させるため、今後のメディア事業はより一層『ランク王』に注力することとしました。当該事業全体としては、中長期的に見て大きく成長していけると期待しております。

引き続きクルーズグループとして、今後の第二・第三の事業の柱となる事業を生み出すべく、既存事業への投資及び新規事業のチャレンジを継続してまいります。

以上の結果として、経営上の目標を判断するための客観的な指標等である連結取扱高は6,348,481千円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,432,266千円（前年同四半期比7.1%減）、営業利益271,050千円（前年同四半期比10.0%増）、経常利益461,804千円（前年同四半期比65.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益393,064千円（前年同四半期比133.1%増）となりました。

（注1）2022年8月22日経済産業省「令和3年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」を基に記載しております。

（注2）株式会社野村総合研究所「ITナビゲーター2021年版」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① EC事業

売上高は1,607,824千円（前年同四半期比20.0%減）、セグメント利益は42,844千円（前年同四半期はセグメント損失27,707千円）となりました。

② GameFi事業

売上高は940,873千円（前年同四半期比12.5%増）、セグメント利益は278,909千円（前年同四半期比243.4%増）となりました。

③ メディア事業

売上高は233,650千円（前年同四半期比49.0%減）、セグメント利益は62,933千円（前年同四半期比67.1%減）となりました。

④ その他事業

売上高は649,917千円（前年同四半期比66.7%増）、セグメント損失は113,636千円（前年同四半期はセグメント利益1,739千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、投資有価証券の減少288,532千円などがあった一方で、現金及び預金の増加346,641千円、売掛金の増加235,948千円及び流動資産のその他に含まれる未収入金の増加156,862千円などにより、26,027,854千円（前連結会計年度末比618,943千円の増加）となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、社債の減少500,000千円などがあった一方で、流動負債のその他に含まれる1年内償還予定の社債の増加500,000千円及び買掛金の増加205,340千円などにより、15,579,067千円（前連結会計年度末比139,123千円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、その他有価証券評価差額金の増加87,830千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上393,064千円などにより、10,448,786千円（前連結会計年度末比479,819千円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化は大きく、新規性の高い事業や新たなビジネスにも積極的に取り組んでいることから、当社グループの業績の見通しについて、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示を見合わせます。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,306,577	14,653,218
売掛金	2,502,628	2,738,577
その他	689,630	1,107,192
流動資産合計	17,498,836	18,498,989
固定資産		
有形固定資産	676,106	662,653
無形固定資産		
ソフトウェア	317,165	294,801
その他	9,671	9,609
無形固定資産合計	326,837	304,410
投資その他の資産		
投資有価証券	5,132,108	4,843,575
その他	1,666,517	1,614,728
投資その他の資産合計	6,798,625	6,458,304
固定資産合計	7,801,569	7,425,368
繰延資産		
社債発行費	108,504	103,496
繰延資産合計	108,504	103,496
資産合計	25,408,910	26,027,854
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,540,995	1,746,335
未払金	1,144,651	1,156,895
未払費用	448,979	445,901
未払法人税等	165,599	297,573
その他	2,604,744	2,949,301
流動負債合計	5,904,970	6,596,006
固定負債		
社債	9,000,000	8,500,000
長期借入金	467,358	400,723
繰延税金負債	115	8,382
その他	67,499	73,955
固定負債合計	9,534,973	8,983,061
負債合計	15,439,944	15,579,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,163	460,163
資本剰余金	1,413,903	1,413,903
利益剰余金	10,437,457	10,835,226
自己株式	△2,661,697	△2,661,697
株主資本合計	9,649,827	10,047,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,112	226,943
為替換算調整勘定	△2,575	△5,605
その他の包括利益累計額合計	136,537	221,337
新株予約権	9,558	9,487
非支配株主持分	173,042	170,363
純資産合計	9,968,966	10,448,786
負債純資産合計	25,408,910	26,027,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,692,645	3,432,266
売上原価	2,042,620	1,731,999
売上総利益	1,650,025	1,700,266
販売費及び一般管理費	1,403,701	1,429,215
営業利益	246,324	271,050
営業外収益		
受取利息	19,703	18,675
為替差益	7,774	4,577
投資事業組合運用益	474	208,709
その他	23,320	2,486
営業外収益合計	51,272	234,450
営業外費用		
支払利息	7,747	7,251
持分法による投資損失	4,409	26,572
社債発行費償却	5,007	5,007
その他	792	4,865
営業外費用合計	17,956	43,696
経常利益	279,639	461,804
特別利益		
関係会社株式売却益	12	219,805
新株予約権戻入益	9	—
事業譲渡益	19,374	—
受取和解金	480	—
特別利益合計	19,877	219,805
特別損失		
減損損失	4,720	—
事業譲渡損	1,645	3,936
その他	4,466	0
特別損失合計	10,832	3,936
税金等調整前四半期純利益	288,683	677,673
法人税、住民税及び事業税	125,606	287,287
法人税等調整額	△2,599	—
法人税等合計	123,006	287,287
四半期純利益	165,677	390,386
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,950	△2,678
親会社株主に帰属する四半期純利益	168,627	393,064

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	165,677	390,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,908	87,830
為替換算調整勘定	△4,837	△3,030
その他の包括利益合計	△37,745	84,799
四半期包括利益	127,931	475,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,881	477,864
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,950	△2,678

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。